



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4999 URL http://www.cemedine.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猪瀬 一弘 (TEL) (03)3442-1381  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	15,201	4.3	677	81.7	718	117.7	425	179.8
22年3月期第3四半期	14,578	△9.4	372	260.3	330	214.5	152	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	29.09	28.79
22年3月期第3四半期	10.26	10.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	17,210	8,523	48.8	575.47
22年3月期	16,780	8,297	48.8	552.50

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,399百万円 22年3月期 8,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	ー	3.00	ー	3.00	6.00
23年3月期	ー	4.00	ー	ー	ー
23年3月期(予想)	ー	ー	ー	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	4.7	770	46.5	810	58.4	420	91.5	28.69

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	15,167,000株	22年3月期	15,167,000株
23年3月期3Q	570,717株	22年3月期	332,822株
23年3月期3Q	14,638,886株	22年3月期3Q	14,834,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参 考)

平成23年3月期の個別業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	3.7	580	6.6	630	11.2	310	13.0	21.18

(注) 平成22年4月30日に公表いたしました個別業績予想は、本資料において修正しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、アジアを中心とした海外経済の回復に支えられ企業の生産活動や輸出が増加し、企業収益に一部改善の動きがみられたものの、長期化する円高の影響や国内の政策効果の一巡など景気の先行き不透明感が払拭されない状況が続いております。また、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況にあり、個人消費の回復は力強さを欠いております。

当社グループ関連業界におきましては、工業関連市場の一部ではアジアを中心とした新興国の成長に支えられ持ち直しが続いておりますが、建築土木関連市場では国内の政策効果が一部に見られるものの全体としては厳しい状況が続いております。また、主要材料価格は、原油・ナフサ価格変動の影響を受け、先行きは不透明なものとなっております。

このような環境のもと、当社グループでは、人と環境に優しい製品や高機能製品の開発および拡販による売上高の確保に努めるとともに、厳しい外部環境に対応できる企業体質を構築するため、業務の一層の効率化と徹底的なコスト削減に取り組んでまいりました。

建築土木関連市場におきましては、大型建築現場や公共投資は低調に推移しましたが、積極的な販売活動に努めたことや各種政策効果による住宅建設の持ち直しによりセメダインタイルエース等の内外装工食用接着剤が伸張し、売上高は7,455百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

一般消費者関連市場におきましては、雇用や所得の先行きに不透明感が強い中で、デフレ認識が浸透し低価格偏重指向が続いております。一般用セメダインスーパーXシリーズの売上が伸張したほか、プラスチック・ゴムの接着に最適なセメダインUT110を市場投入するなど拡販に努めましたが、ホームセンターの価格競争は依然として激しいことなどから販売価格は低迷し、売上高は3,467百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

工業関連市場におきましては、電機市場やアジア地域での需要回復が堅調に続いており、電子部品向け等の工業用セメダインスーパーX系接着剤の売上が堅調に推移いたしました。住宅用太陽光発電システムの増加による太陽電池向け高機能製品や鉄道車両向け高機能製品の売上が伸張し、売上高は4,279百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期の連結売上高は15,201百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。利益面につきましては、高機能製品の売上が増加したことに加え、連結子会社シー・エヌ・シー(株)の生産が順調に推移し業績が好転したこともあり、営業利益は677百万円(前年同四半期比81.7%増)、経常利益は718百万円(前年同四半期比117.7%増)、四半期純利益425百万円(前年同四半期比179.8%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末と比較し622百万円増加し12,120百万円となりました。これは主に、現金及び預金が186百万円、受取手形及び売掛金が692百万円増加し、たな卸資産が145百万円減少したことによります。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により前連結会計年度末と比較し189百万円減少し5,084百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比較し429百万円増加し17,210百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末と比較し840百万円増加し7,440百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が700百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較し636百万円減少し1,246百万円となりました。これは主に、長期借入金が384百万円、退職給付引当金が109百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比較し204百万円増加し8,687百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて225百万円増加し8,523百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、自己株式の取得、評価・換算差額等の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の結果を受け、通期の連結業績予想、個別業績予想を修正しております。

売上高は前年同四半期比では増加しておりますが、市況が想定ほど回復していないことから、売上高については前回の業績予想を下回る見込みであります。利益面については、高機能製品の売上増加や原価低減および諸経費の削減に取り組んだこと等により営業利益、経常利益、当期純利益とも前回の業績予想を上回る見込みであります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計基準等の変更に伴う変更)

#### ① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,621,997	3,435,739
受取手形及び売掛金	6,598,139	5,906,114
商品及び製品	1,102,400	1,226,034
仕掛品	142,169	178,570
原材料及び貯蔵品	444,159	429,606
その他	219,560	339,370
貸倒引当金	△7,472	△16,489
流動資産合計	12,120,954	11,498,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,918,241	2,018,700
その他(純額)	1,378,401	1,459,958
有形固定資産合計	3,296,643	3,478,659
無形固定資産		
投資その他の資産	221,527	248,222
投資有価証券	925,360	934,871
その他	658,575	638,200
貸倒引当金	△17,205	△25,238
投資その他の資産合計	1,566,730	1,547,833
固定資産合計	5,084,901	5,274,715
繰延資産	4,472	6,693
資産合計	17,210,328	16,780,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,791,274	5,091,071
短期借入金	510,000	558,000
未払法人税等	249,769	37,241
賞与引当金	113,422	220,557
その他	776,285	692,979
流動負債合計	7,440,752	6,599,850
固定負債		
長期借入金	—	384,000
退職給付引当金	855,947	965,217
その他	390,500	533,841
固定負債合計	1,246,447	1,883,058
負債合計	8,687,200	8,482,909



(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,676,947
利益剰余金	3,037,628	2,714,661
自己株式	△185,699	△108,330
株主資本合計	8,579,251	8,333,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△41,948	△6,794
為替換算調整勘定	△137,638	△131,038
評価・換算差額等合計	△179,586	△137,832
新株予約権	35,103	20,969
少数株主持分	88,359	80,652
純資産合計	8,523,127	8,297,444
負債純資産合計	17,210,328	16,780,353

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	14,578,786	15,201,836
売上原価	10,866,779	11,141,860
売上総利益	3,712,006	4,059,976
販売費及び一般管理費	3,339,160	3,382,395
営業利益	372,846	677,580
営業外収益		
受取利息	2,422	1,401
受取配当金	12,312	12,920
持分法による投資利益	4,428	56,402
その他	34,721	42,438
営業外収益合計	53,885	113,163
営業外費用		
支払利息	14,341	6,945
売上割引	54,954	55,185
支払補償費	14,168	3,632
その他	13,170	6,461
営業外費用合計	96,635	72,225
経常利益	330,096	718,518
特別損失		
固定資産除却損	17,916	13,331
減損損失	15,821	—
特別損失合計	33,737	13,331
税金等調整前四半期純利益	296,358	705,186
法人税等	131,607	254,222
少数株主損益調整前四半期純利益	—	450,964
少数株主利益	12,568	25,108
四半期純利益	152,182	425,855

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。